

2020年2月27日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

News Release

5年で5件、電子レンジで発生する事故 ～取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう～

1. 事故の発生状況

2014年度から2018年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{*1}のうち、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機及び炊飯器の事故は、北海道で合計23件^{*2}ありました。その中で、電子レンジの事故は5件あり、使用者の不注意による事故が発生しています。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を図1に示します。

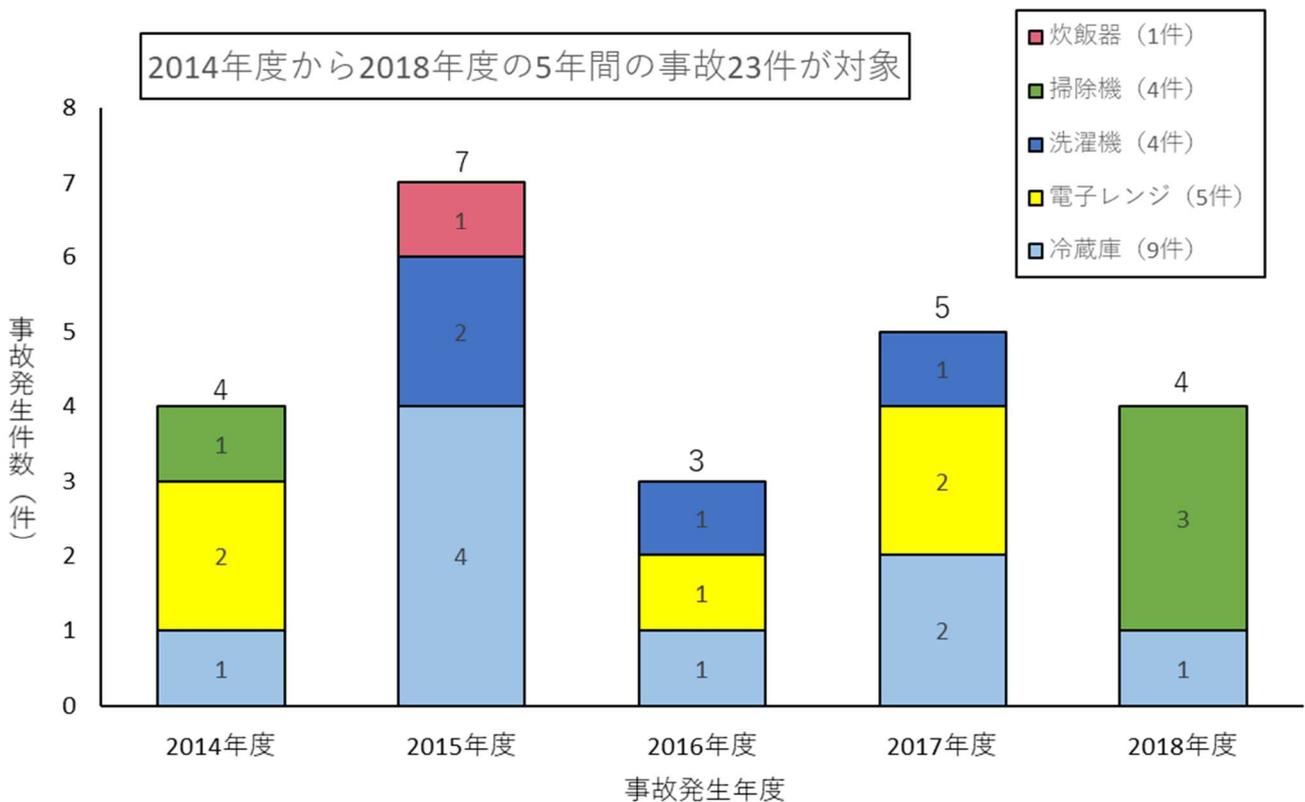


図1 年度別事故発生件数

(2) 製品ごとの事故発生件数

製品ごとの事故発生原因別 事故発生件数を図2に示します。

製品ごとの事故発生件数を見ると、電子レンジの事故では5件中2件(40%)が使用者の不注意による事故です。

2014年度から2018年度の5年間の事故23件が対象

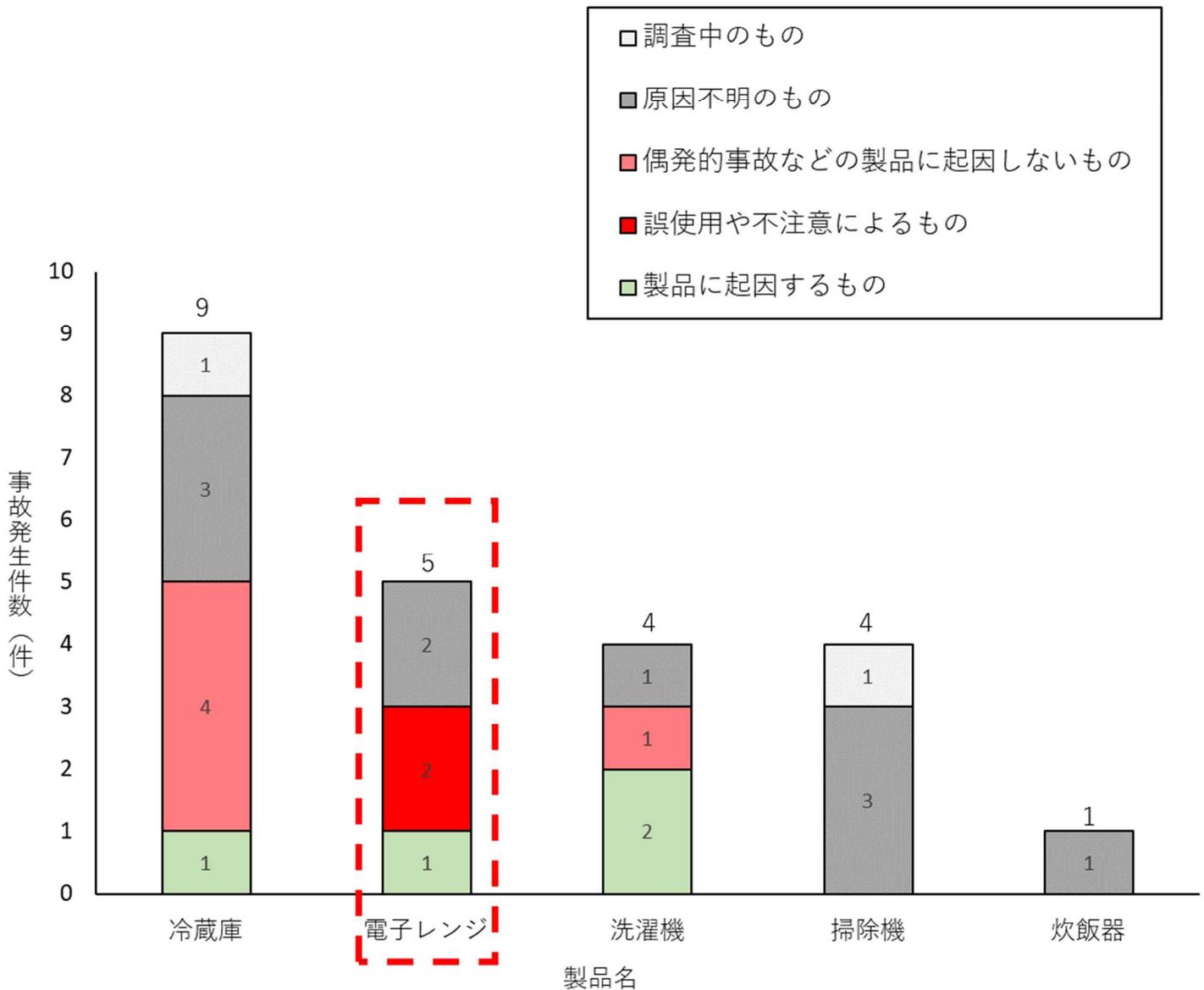


図2 製品ごとの事故発生原因別 事故発生件数

(3) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を図3に示します。

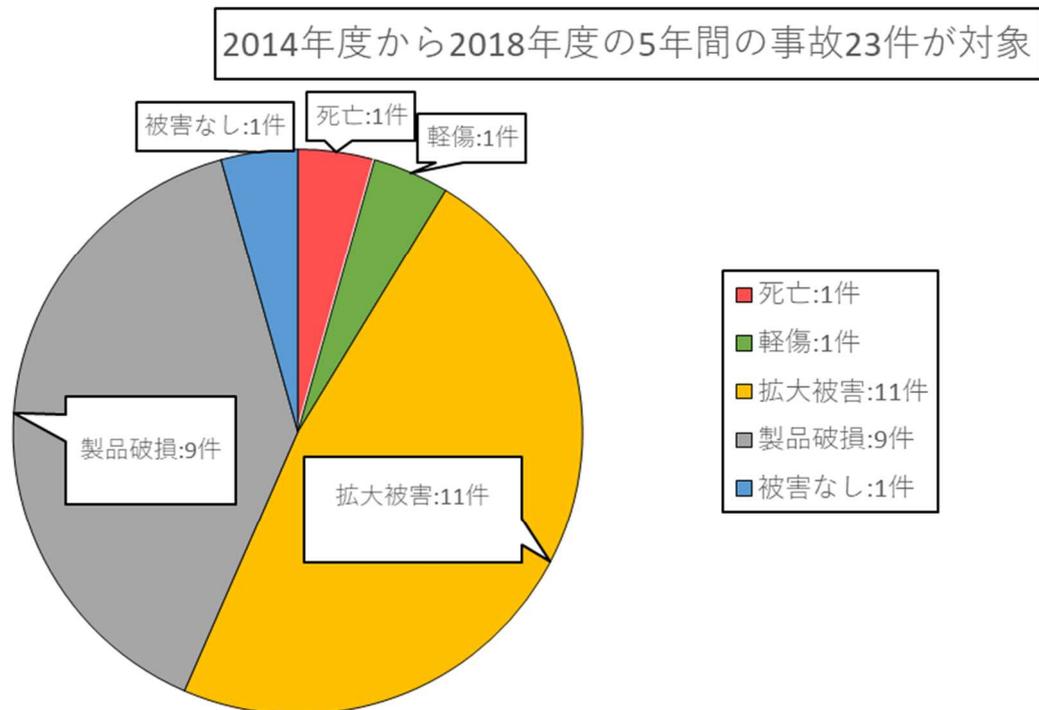


図3 被害状況別事故発生件数（2014～2018年度）※3

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) 電子レンジ

○2014年7月（北海道、60歳代・女性、使用期間約3年、拡大被害）

事故内容：電子レンジを使用中、庫内から出火し、レンジ置き台の一部を焼損した。

事故原因：庫内の下部と扉の隙間に付着した食品カスに電波が集中してスパークが発生し、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「庫内に付着した油や食品カスを放置したまま加熱しない。発火や発煙の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 電気オーブンレンジ

○2018年12月（北海道、50歳代・女性、使用期間約4年2か月、被害なし）

事故内容：揚げ物あたため直しモードで使用中の電気オーブンレンジから発煙した。

事故原因：庫内底面奥側とターンテーブルの隙間に付着した調理物の汚れや食品カスが、ヒーターで加熱されて発煙したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「庫内に付着した油や食品カスを放置したまま加熱しない。発火や発煙の原因になる。」旨、記載されている。

3. 電子レンジの事故を防ぐためのポイント

- ①庫内をこまめに掃除する。
- ②ターンテーブルが回らないなどの故障がみられた場合は、使用を中止する。
- ③取扱説明書や食品に記載されている加熱時間を確認し、加熱し過ぎないように注意する。
- ④電子レンジに使用することが可能な容器かを確認する。
- ⑤粘性のあるもの(カレー、シチュー、みそ汁など)は、加熱後に突然沸騰する現象を防ぐため、加熱前によくかき混ぜ、短時間の加熱を繰り返す。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:大井、鈴木、下川

電話:011-709-2324